

平成 30 年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

令和 2 年 1 月 10 日
 地方競馬全国協会
 畜産振興部

地方競馬全国協会(以下「NAR」という。)では、畜産振興補助事業(以下「補助事業」という。)を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価(以下「事業評価」という。)する仕組みを導入し、客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会(以下「評価委員会」という。委員名簿は下表参照)を設置し、意見を聴取しています。

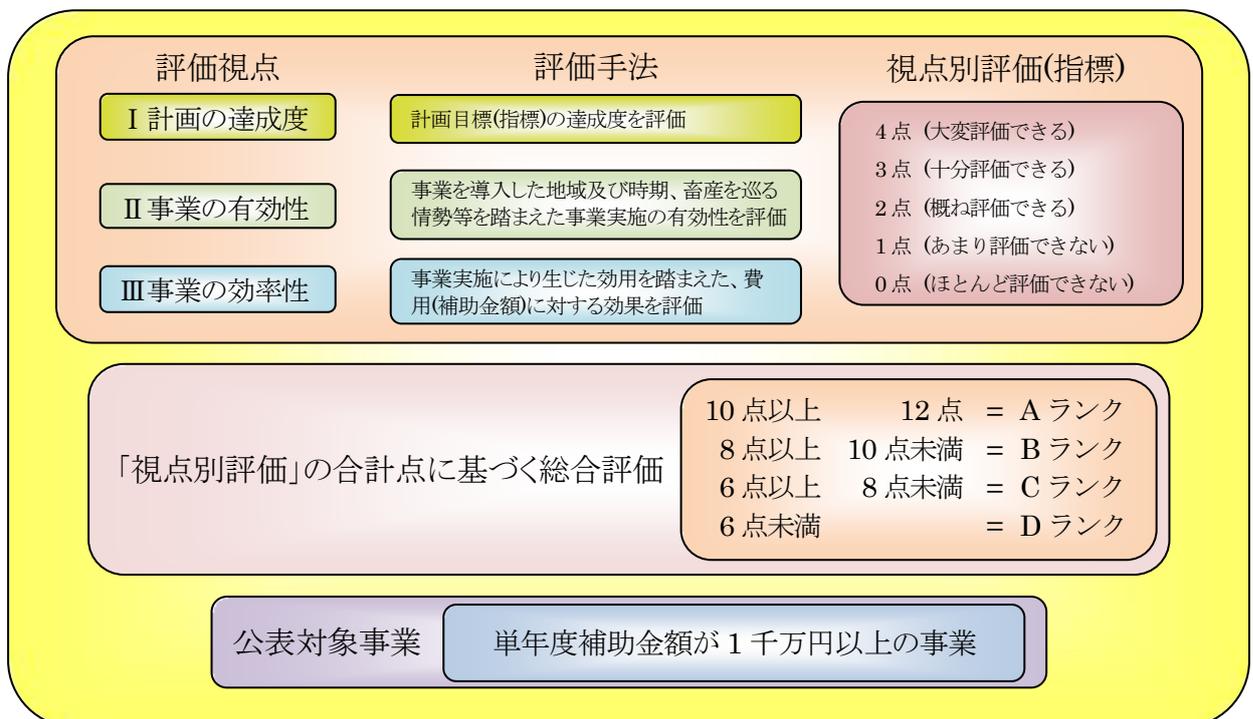
また、NAR は、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

令和元年度は、平成 30 年度に実施された補助事業(畜産振興事業:81 団体、事業件数 104 件、補助金額 807,809 千円、競走馬生産振興事業:18 団体、事業件数 30 件、補助金額 2,542,459 千円)を対象として事業評価を行い、今般その結果がまとまりましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 (敬称略)

委員氏名	所 属	役 職 名	備考
磯 貝 保	独立行政法人 家畜改良センター	理 事	
菅 野 茂	国立大学法人 東京大学	名 誉 教 授	
藤 島 博 康	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部長	
松 尾 昌 一	一般社団法人 家畜改良事業団	専 務 理 事	
松 本 博 紀	公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	業 務 部 長	座長

図. 「評価の基準」



【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (1) 登録推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会	
補助金等の名称		技術料、登録推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	血統登録及び事務の円滑化
		[NAR] (平成30年度) 畜産振興事業補助実施要綱			実施方法	登録審査、実務者研究会等
		[事業実施主体] 種馬登録規程			受益対象者	農用馬の生産者等
	事業の内容		<p>農用馬の血統と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保等に寄与するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> i 種馬登録審査 …… 北海道、青森、岩手、島根、熊本及び宮崎の各県における輓系馬を主体とした種馬登録 登録システムの改修: マイクロチップ®(MC) 既埋込馬のMC番号読み取りと登録証への記載(平成29年度～) ii 登録実務者研究会 …… 種馬登録審査を厳正に行うための馬の毛色及び特徴記載方法の講義並びに実馬審査による実務者研究会開催 (H30年度対象者: 7名、実施場所: 家畜改良センター十勝牧場) iii 登録業務普及啓発 …… 登録申請等の簡便化や各種馬事知識の普及啓発を図るため、HPの情報の充実、馬事関係の情報を逐次更新し発信 iv 馬精液調査 …… 今後の馬精液等の輸出入の円滑な実施に向け、調査員2名を海外(独)に派遣し、製造販売の実績や輸入手続、現地交渉窓口等についての実態調査を実施 			
補助金額(千円)		前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考	
		45,352	49,736	63,557		
視点別評価					【評価項目】	
					I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク		ランクの定義	
	合計点	8	A		視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B		視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C		視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D		視点別評価の合計点が6点未満		

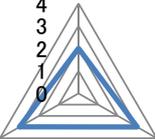
【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (2)農用種馬の導入	事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会																															
補助金等の名称		国内産種雄馬導入費における種雄馬購入費及びその他の経費 外国産種雌馬導入費 優良種雄馬適正配置費																																	
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種雄馬管理規程	事業の目的	趣旨	優良な農用種馬の購入、適正配置																														
				実施方法	種雄馬購入・借受及び種雌馬購入 生産地への配置、管理指導 種雄馬名簿の作成等																														
			受益対象者	農用馬の生産者等																															
事業の内容		<p>ばんえい競馬の重賞勝ち馬等牽引能力の高い農用種雄馬及び基幹的品種の農用種雌馬の導入による資質向上と、種雄馬の飼養管理技術の向上を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 国内産種雄馬購入・・・ 公益社団法人日本馬事協会が定める農用種雄馬(ばんえい馬)選定基準により選定された種馬の購入 H30年度は国内産馬として以下の1頭を導入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>馬名</th> <th>品種</th> <th>導入時年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(購入種雄馬)</td> <td>1頭</td> <td>ニシキエーカン</td> <td>日本純系種</td> <td>9歳</td> </tr> </tbody> </table> <p>ii 外国産種雌馬購入・・・ 農用馬の改良増殖を推進するため、基幹的品種の種雌馬の購入と家畜改良センター十勝牧場への配置 H30年度は外国産馬として以下の4頭を導入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>馬名</th> <th>品種</th> <th>導入時年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">(購入種雌馬)</td> <td>(海外)</td> <td>フランシーヌ4</td> <td>ブルトン</td> <td>3歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エクリップス</td> <td>ブルトン</td> <td>4歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フィオナド・ホー・ルイ</td> <td>ペルシュロン</td> <td>3歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェリエール・ダトゥ</td> <td>ペルシュロン</td> <td>3歳</td> </tr> </tbody> </table> <p>iii 優良種雄馬適正配置・・・ 国内産購買種雄馬1頭の主要産地への適正配置、(独)家畜改良センター十勝牧場有借受種雄馬6頭の主要産地への転貸</p> <p>iv 種雄馬管理指導・・・ 公益社団法人 日本馬事協会及び支部が主体となって行う、北海道、青森県、岩手県、島根県、熊本県、宮崎県に配置中の種雄馬についての管理状況の把握と、飼養管理者に対する管理技術の向上についての指導</p> <p>v 種雄馬名簿の発行・・・ 平成30年度に種畜検査を受け、種畜証明書の交付を受けた種雄馬を収録した名簿の刊行と関係者への配布</p>				区分	馬名	品種	導入時年齢	(購入種雄馬)	1頭	ニシキエーカン	日本純系種	9歳	区分	馬名	品種	導入時年齢	(購入種雌馬)	(海外)	フランシーヌ4	ブルトン	3歳		エクリップス	ブルトン	4歳		フィオナド・ホー・ルイ	ペルシュロン	3歳		フェリエール・ダトゥ	ペルシュロン	3歳
区分	馬名	品種	導入時年齢																																
(購入種雄馬)	1頭	ニシキエーカン	日本純系種	9歳																															
区分	馬名	品種	導入時年齢																																
(購入種雌馬)	(海外)	フランシーヌ4	ブルトン	3歳																															
		エクリップス	ブルトン	4歳																															
		フィオナド・ホー・ルイ	ペルシュロン	3歳																															
		フェリエール・ダトゥ	ペルシュロン	3歳																															
補助金額 (千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考																															
	20,580	26,255	60,000																																
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>																															
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義																															
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)																															
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満																															
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満																															
			D	視点別評価の合計点が6点未満																															

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (3) 農用種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	南幌農業協同組合 他20団体	
補助金等の名称	純粋種雌馬繁殖奨励費、農用種雌馬繁殖奨励費、ばんえい競馬出走馬繁殖奨励費 純粋種雌馬導入費、農用種雌馬導入費、ばんえい競馬出走馬導入費 推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	農用馬の改良及び生産振興
		[NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 農用種雌馬の繁殖奨励金交付規程 農用種雌馬の貸付規程		実施方法	奨励金交付、導入費補助
事業の内容	事業の内容	農用馬の改良及び生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。			
		i 純粋種雌馬繁殖奨励 ……	公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の純系農用種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき300千円以内)		
		ii 農用種雌馬繁殖奨励 ……	公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の純系農用種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき250千円以内)		
		iii ばんえい競馬出走馬繁殖奨励	地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき330千円以内)		
		iv 純粋種雌馬導入費 ……	公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の純系農用種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき300千円以内)		
		iv 農用種雌馬導入費 ……	公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の純系農用種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき250千円以内)		
		vi ばんえい競馬出走馬導入費	地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき330千円以内)		
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考	
	19,656	25,270	40,875		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (4) 農用馬の繁殖奨励	事業実施主体名	上川生産農業協同組合連合会 他11団体		
補助金等の名称		種付奨励費、生産奨励費、優良種雄馬改良促進奨励費、優良種雌馬改良促進奨励費、 優良種雌馬保留奨励費、推進事務費				
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬保留奨励金交付規程	事業の目的	趣旨	農用馬の生産促進及び牽引能力の改良		
			実施方法	奨励金交付		
			受益対象者	農用馬の生産者等		
事業の概要	<p>農用馬の生産促進及び牽引能力の改良を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>①優良種雄馬繁殖奨励 種付奨励 …… 当該年に種付した純系種雄馬の飼養者への奨励金の交付 ○純粋種種雄馬1頭につき……70千円以内 ○純粋種以外種雄馬1頭につき…35千円以内</p> <p>②子馬生産奨励 生産奨励 …… 当該年産で、公益社団法人 日本馬事協会が行う血統登録を受けた純系農用馬の生産者への奨励金の交付 ○純粋種 …… 子馬1頭につき39千円以内 ○純粋種以外… 子馬1頭につき33千円以内</p> <p>③改良促進奨励 i 優良種雄馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の父馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき35千円以内) ii 優良種雌馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の母馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき120千円以内) iii 優良種雌馬保留奨励 …… 当該年に帯広市が行う地方競馬において初出走をした競走馬の母馬であり、自身も地方競馬での出走履歴を持つ母馬飼養者への奨励金の交付(出走馬1頭につき100千円以内)</p>					
	補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考	
	83,334	96,006	98,810			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
	評価結果		ランク	ランクの定義		
総合評価	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 馬事普及啓発推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		馬事普及特別対策事業費、馬事思想普及教材の配布事業費、馬事関係資料収集事業費、優良農用馬学術調査事業費、優良農用馬生産者表彰事業費、農用馬等生産振興事業費、共通事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	馬事知識の普及、生産技術等の継承、農用馬の資源確保
		[事業実施主体] ・馬事普及特別対策事業実施要領 ・優良農用馬表彰実施要領		実施方法	馬事普及事業への経費助成、馬事普及資料作成、学術調査及び会議の実施、生産者賞の交付
事業の概要	事業の内容	<p>農用馬の改良増殖、生産技術の向上、一般向けの馬事思想普及啓発、生産者の生産意欲の向上及び生産振興策検討のため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 馬事普及特別対策事業 …… 畜産関係団体等が実施した畜産フェア、生産集団等が実施した生産技術調査・研修及び生産技術調査・研究開発、生産集団等が実施する共進会に対する経費助成</p> <p>ii 馬事思想普及教材配布事業… 一般向け普及啓発用教材「馬のいろいろ」2万部を作成、配布</p> <p>iii 馬事関係資料収集事業…… 「日本馬政史」の現代版翻訳</p> <p>iv 優良農用馬学術調査事業…… 山口大学との共同研究でばんえい馬の牽引能力に係る運動メカニズム解明のための学術調査を実施</p> <p>v 優良農用馬生産者表彰事業… 馬の生産の指標となる2歳馬の基幹2競走(黒ユリ賞、イレネー記念)の出走馬及び多産馬の飼養者に対する奨励金等の交付</p> <p>vi 農用馬等生産振興事業…… 地域の実態に即した生産振興策を検討するためのブロック会議並びに農用馬の今後の方向性を検討するための全国会議を実施</p>			
		補助金額(千円)	前年度(H29実績) (基金事業) 9,057	評価年度(H30実績) 21,968	今年度(R1計画) 47,696
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 優良農用馬生産奨励		事業実施主体名	帯広市
補助金等の名称		ばんえい競馬生産奨励費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ・帯広市優良軌系馬生産奨励金交付要領	事業の目的	趣旨	農用馬の資源確保
				実施方法	生産奨励金の交付
				受益対象者	農用馬の生産者等
事業の内容		<p>農用馬生産者の生産意欲を高めることにより、ばんえい競馬の競走馬の資源確保を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>生産者賞の交付 …… 当該年度ばんえい競馬の競走馬として新規登録し、かつ競走に出走した馬の生産者に対する生産者賞の交付(1走あたり10,000円を限度とする)</p> <p>※今年度から、帯広市が事業実施主体として実施している事業。前年度まで(公社)日本馬事協会が実施していた「優良農用馬資源確保緊急特別対策」が終了したことを受け、規模拡大して実施した。</p>			
補助金額(千円)		前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考
		-	44,997	54,000	
視点別評価	<p>I計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III事業の効率性(費用対効果) II事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会		
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費					
事業の概要	根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】</p> <p>[NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱</p> <p>[事業実施主体]</p> <p>①総括畜産コンサルタント資格試験実施要領 ②平成30年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領 ③平成30年度全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領</p>	事業の目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化	
				実施方法	地域畜産協会への経営技術指導 総括畜産コンサルタント試験の実施 地域畜産協会業務の円滑化の推進 経営指導技術の向上 畜産関係団体の調整機能の強化等	
				受益対象者	地域畜産協会 畜産農家、一般消費者等	
事業の内容	<p>道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 〈道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:10名、書類審査、面接試験、受験者22名、合格者18名) ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(ブロック会議への派遣10回) ・新任基礎研修(研修者:21名、平成30年9月5日～7日、中畜) ・経営指導従事者研修(研修者15名、平成30年11月14日～16日、岡山県美作市) ・管理責任者等研修・総務経理担当者研修(研修者:延べ222名、計3回、都内会議室) ・農林水産省中央畜産技術研修会(派遣者数:17講座115名)(うち研修旅費一部補助者延べ52名) ・海外畜産事情研修(研修生10名、平成30年9月8日～22日、EU諸国) ・経営指導成果普及検討事業(全国優良畜産経営管理技術発表会(平成30年11月27日)) <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 〈畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産関係団体調整機能強化事業(21府県) ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道府県) ・畜産経営相談窓口機能設置事業(中央畜産会及び30道府県) ・電算処理事業(畜産経営データベース及び畜特利子補給等電算処理関係業務の請負) ・出版事業(月刊誌「畜産コンサルタント」、特別出版物の発行及びセミナーの開催) 					
	補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考	
	77,712	107,785	156,684			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	(一社)北海道酪農畜産協会他全国45団体		
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費、馬事普及啓発推進費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化	
		[NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱		実施方法	畜産農家に対する経営指導、地域畜産の普及啓発、馬事畜産振興等	
				受益対象者	畜産農家、一般消費者等	
事業の内容	<p>道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページ等で広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業の実施</p> <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等の推進や食育及びふれあい体験活動を通じた畜産の普及啓発、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした地域畜産物の活性化のための事業や、一般消費者への普及・PR活動、畜産物の安全かつ安定的供給に資する事業の実施</p> <p>iii 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた観戦ツアー、畜産フェア等のイベントの実施や、各種イベントにおける馬事振興などを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発を図ること等を目的とした事業の実施</p>					
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考		
	355,027	373,100	391,645			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

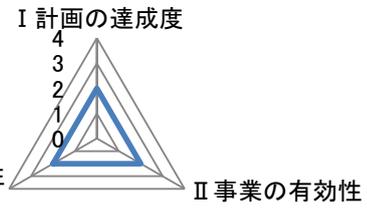
【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	地方競馬支援 畜産の普及啓発 畜産物の消費拡大
		[NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領		実施方法	冠競走への支援・畜産フェアの実施
事業の内容	地方競馬並びに我が国の畜産の普及啓発(畜産物の消費拡大)とその活性化を図るため、次に掲げる事業の実施した。 i 道府県関係費(地方競馬支援・畜産・畜産物の普及啓発) ・冠競走実施(63回)、畜産フェア等の開催(29回)及び競馬観戦バスツアー等(12回)【馬事畜産地方協議会対応】 ii 畜産フェア(全国規模のイベント等) ・①国際養鶏養豚総合展(IPPS)2018(ポートメッセなごや:5月)、②2018JBC競走(JRA京都競馬場:11月)、 ③2018動物感謝デーinJAPAN(二子玉川ライズ:12月)、④第51回ばんえい記念(帯広競馬場:3月)にて畜産フェアを実施(競馬の社会貢献性を普及啓発する資料と畜産物の無料配布) iii 地方支援費(家畜に係わる伝統行事支援)平成30年度より実施 ・チャグチャグ馬つこや相馬野馬追等、全国各地で実施された家畜に係わる伝統行事(69団体)を支援	受益対象者		一般消費者等	
	補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(R1計画)	備考
		10,724	39,433	42,640	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進		事業実施主体名	一般社団法人 日本養鶏協会
補助金等の名称		馬事畜産振興推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	地方競馬支援 畜産の普及啓発 畜産物の消費拡大
		[NAR] (平成30年度)畜産振興事業補助実施要綱		実施方法	畜産フェアの実施 インターネットによる情報提供
				受益対象者	一般消費者等
事業の内容		<p>地方競馬の社会貢献活動並びに畜産に関する情報の普及啓発を図り、競馬と畜産の活性化や、鶏卵の消費拡大に資するため、次に掲げる事業を実施した(平成30年度単年度事業)。</p> <p>馬事畜産振興推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいたまごの日イベント(平成30年11月2日、東京都中央区銀座) <ul style="list-style-type: none"> ①料理教室の開催(参加者100名、地方競馬の社会貢献に関する普及啓発資料を併せて提供) ②路上サンプリング(配布数200個、地方競馬の社会貢献に関する普及啓発資料を通行人に配布) ・WEBサイトによる養鶏情報提供(①マイナビ特集記事5回、②WEBキャンペーン1回) ・卵料理キャンペーン(対象者629名、3県:愛知県、山口県、長崎県) 			
補助金額 (千円)	評価年度(H30実績)			備考	
	10,000			H30単年度事業	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】	
				I 計画の達成度	
				II 事業の有効性	
				III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	6	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	C	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (1) 軽種馬の登録推進	事業実施主体名	公益財団法人 ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	
補助金等の名称		登録推進費、馬名登録業務費、マイクロチップ埋込推進費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	登録及び事務の円滑化
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	血統登録審査、馬名登録審査
		[事業実施主体] 公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程他		受益対象者	軽種馬生産者、競走馬の馬主等
事業の内容	<p>国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に対する国民の信頼確保ならびに国際相互理解の促進に寄与する目的のため、軽種馬の血統と個体識別を明確にし繁殖成績を記録、軽種馬を競走馬登録する過程で必須となる馬名の決定をするため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 軽種馬登録業務 …… 実馬審査をもとにした軽種馬の血統・繁殖登録及び証明書を発行し、海外の血統書統括機関との連携を図った。</p> <p>ii 馬名登録業務 …… 新規登録・馬名変更等について、規程に則り適正な審査を実施し、関係団体と馬名登録連絡会議を開催、相互連携の強化を図った。</p> <p>iii マイクロチップ埋込事業 …… 生産地でのマイクロチップ埋込事業に要する一部経費について補助を行った。</p>				
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
	72,314	72,765	72,920		
視点別評価				【評価項目】	
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (2) その他 優良2歳馬導入促進対策		事業実施主体名	北海道 他12地方競馬主催者		
補助金等の名称		付加賞金費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	競走馬の購買意欲を向上させ、生産地の活性化を推進する	
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱			実施方法	地方競馬2歳競走への付加賞金交付	
		[事業実施主体] 平成30年度(各事業主体名)優良2歳馬導入促進対策事業付加賞金交付規程			受益対象者	地方競馬馬主	
	事業の内容	事業主体毎に、2歳馬の競走体系を勘案(新馬優先)して競走数を定め、当該競走1着から3着(5着)の競走馬の馬主に対し、付加賞金を交付する事業を実施した。					
補助金額(千円)		前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考		
		153,565	199,591	218,563			
視点別評価					【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
判定(ランク)	B		D	視点別評価の合計点が6点未満			

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 競走馬の防疫衛生対策事業 (2)その他 競走馬防疫促進対策 (基金事業)		事業実施主体名	公益社団法人中央畜産会	
補助金等の名称		基金造成費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] 平成30年度競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人中央畜産会競走馬防疫促進対策事業実施要領		事業の目的	趣旨	競走馬に対する馬自衛防疫体制の強化
					実施方法	競走馬防疫促進対策の検討会等の開催 馬伝染病予防接種費補助
					受益対象者	地方競馬馬主等
	事業の内容		<p>H7年度に軽種馬の自衛防疫体制の確立を図るため「馬防疫促進緊急対策事業」として、旧社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会(以下「衛指協」という。)に基金が造成され、全国公営競馬馬主連合会(現日本地方競馬馬主振興協会(以下「日馬振」という。))が事業を実施していたところである。(当協会⇒衛指協⇒馬主会への間接補助)その後、衛指協が中央畜産会に合併(H21年度)されたため、中央畜産会に事業が継承されている。</p> <p>平成30年度は、日馬振が実施する競走馬防疫促進対策の検討会等の開催に加え、日馬振の会員である各都道府県馬主会が行う伝染性疾病(馬インフルエンザ、日本脳炎、ゲタウイルス、破傷風)予防接種等に係る経費について間接補助している。</p> <p>なお、「ばんえい競馬馬主協会」は日馬振の会員となっていないことから、「育成馬等の予防接種対策」事業として別途実施した。</p>			
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考		
	41,685	42,700	42,700			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
		D	視点別評価の合計点が6点未満			

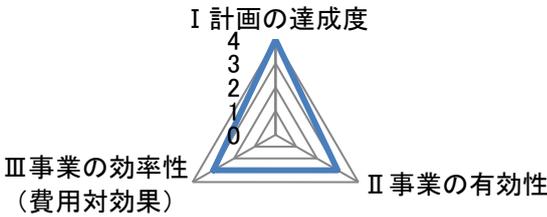
【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (1) 軽種馬経営高度化指導研修 (軽種馬経営技術指導者養成・ 技術普及)		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		研修費、巡回指導費、検討会開催費、データ収集提供費、技術普及費、生産地調査費、研修施設整備費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	技術指導者養成、技術普及により、 軽種馬生産・経営の安定化を図る
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	各種研修会開催、技術普及指導
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営高度化指導研修事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者、軽種馬農協等
事業の内容		<p>軽種馬生産専門技術指導者の養成および生産者、担い手等を対象とした研修、検討会の実施、養成した技術指導者による巡回指導、生産育成技術等に関するデータの収集・分析・提供等により、軽種馬生産・経営の安定化を図るため、以下の事業を実施した。</p> <p>平成30年度実績 1. 技術指導者養成研修 2. 生産者研修 3. 担い手研修 4. 研修受講支援 5. 巡回指導 6. 検討会開催 7. データの収集・分析・提供 8. 生産者等に対する技術普及指導 9. 生産地調査 10. 研修センターの整備及び維持</p>			
補助金額 (千円)		前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考
		100,649	80,006	130,000	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (2) 軽種馬経営高度化指導研修 (人材養成支援)	事業実施主体名	公益社団法人競走馬育成協会	
補助金等の名称		生産育成技術者海外派遣研修費、修学奨学金、生産育成牧場就業促進費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	軽種馬生産育成技術者の養成 軽種馬生産育成牧場への就業支援
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	海外研修、就学奨励金交付、就業促進(フェア、Web等)
		[事業実施主体] 公益社団法人競走馬育成協会軽種馬経営高度化指導研修事業実施要領他		受益対象者	軽種馬生産・育成者、担い手、就業希望者
事業の内容		<p>競走馬の生産育成牧場への就労を目指す若者、飼養管理及び生産育成技術の改善・向上を目指す牧場就労者等を対象として、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 海外派遣研修 …… 海外の先進的生産・育成技術習得のため海外(愛国、米国)へ研修生を派遣した。</p> <p>ii 修学奨学金交付 …… 生産育成者養成施設(日本軽種馬協会静内種馬場、軽種馬育成調教センター)の研修者(対象:生活困窮者)に返還義務のない給付型修学奨励金を交付できるよう実施体制を整えた(平成30年度は対象者なし)。</p> <p>iii 就業促進支援 …… 「BOKUJOB」として、フェアの開催、Webサイト運営、牧場見学・体験会などを行い、就業促進を図った。</p>			
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
	54,007	67,054	70,000		
視点別評価				【評価項目】	
				I 計画の達成度	
				II 事業の有効性	
				III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (3) 優良繁殖馬導入促進 (優良種牡馬整備)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		種牡馬導入費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進(優良種牡馬整備)事業実施要領	事業の目的	趣旨	軽種馬生産の安定的維持・拡大 国際的に通用する強い馬づくり
		実施方法		優良種牡馬の導入、事前調査	
	事業の内容	<p>優良な種牡馬を海外から購入し、公的な立場から軽種馬生産者の種付け料負担を軽減、国際的に通用する強い馬づくりを支援し、優良な競走馬を安定的に生産できる体制を確保するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 事前調査の実施 …… 優良種牡馬導入を円滑に実施するため、海外の主要な軽種馬生産地域(英、愛、米、豪)において種牡馬資源の状況を事前調査した。</p> <p>ii 優良種牡馬の導入 …… デクラレーションオブウォー号(米国)を導入した。</p>			
補助金額(千円)		前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考
		207,093	997,341	8,000	31年度は調査のみ
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (4) 優良繁殖馬導入促進 (優良繁殖牝馬整備)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会		
補助金等の名称		導入促進事業費、推進事務費、技術料				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	軽種馬生産の安定的維持・拡大 国際的に通用する強い馬づくり	
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	繁殖牝馬導入経費の一部補助	
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進 (優良繁殖牝馬整備)事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者	
	事業の内容	<p>軽種馬生産者が国内外の繁殖牝馬セールで優良繁殖牝馬を導入する際の購入経費の一部補助を実施した。なお、生産者からの要望を受けて、平成30年度は担い手特認の補助率の見直しを行った。補助率と実績は次のとおり。</p> <p>①担い手特認(要件別紙):補助率1/2 - 2頭 ②面積特認(要件別紙):1/2 - 3頭 ③未供用馬:1/3 - 7頭 ④その他:1/4 - 46頭</p>				
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考		
	169,768	118,364	190,000			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】		
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

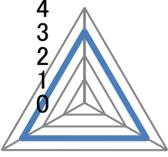
【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (5) 優良繁殖馬導入促進 (繁殖牝馬流通活性化)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		情報収集・提供費、広報活動費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	繁殖牝馬の市場上場促進
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	セリ市場開設に係る経費の一部補助
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進(優良牝馬流通活性化)事業実施要領		受益対象者	繁殖牝馬セリ市場開設者
	<p>現役引退した競走馬(牝馬)の市場上場を促進、繁殖牝馬の流通活性化を図るため、繁殖牝馬セリ市場の開設者に対し、上場馬や市場開催に係る各種情報提供、広報活動等について必要な経費の一部を補助した。</p> <p>i 繁殖牝馬市場開催 … 年2回の繁殖牝馬市場(ジェイエス繁殖馬セール秋季・冬季)にあわせて、セリ名簿を作成し馬主等に送付。また、Webサイト、メディア(競馬雑誌、グリーンチャンネル)等で開催を広く周知した。</p> <p>ii 馬主への広報活動 … ポスター・リーフレット・広告用PRチラシ等を作成し、現役を引退する繁殖牝馬のセリ市場への上場意欲を促進する啓蒙活動を実施した。</p>				
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
	9,373	10,049	14,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】	
				I 計画の達成度	
				II 事業の有効性	
				III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (6) 軽種馬生産基盤整備対策		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		軽種馬生産基盤整備対策事業費(新規造成・拡大、既存草地更新、担い手機械リース)、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬生産基盤整備対策事業実施要領		事業の目的	趣旨 放牧地の確保による軽種馬生産体質の強化
				実施方法	新規造成・草地更新等の取組みに係る経費の一部補助
				受益対象者	軽種馬生産者
事業の内容		<p>軽種馬生産構造の改善を支援するため、軽種馬生産者が、草地の適切な維持・管理を推進することで生産性の向上を図ること、また昼夜放牧に適した一定の放牧地面積を確保し、良質な牧草を通じて生産馬の資質向上を図ることを目的として、次に掲げる事業に対する経費の一部を補助した。</p> <p>① 新規造成・拡大 …… 狭隘な放牧地の拡充、遊休農地活用、採草地から放牧地への転換等により、昼夜放牧等に対応できる一定以上の面積を有する放牧地の整備や、良質な牧草を確保するための採草地の新規造成等を実施した。</p> <p>② 既存草地更新 …… 一定の面積を有する放牧地の再整備と牧柵、付帯設備の整備や、一定の面積を有する採草地の再整備等を実施した。</p> <p>③ 担い手機械リース …… 軽種馬生産の担い手が、草地管理用の機械装置を補助付きリース(補助率1/3)他で導入する事業を実施した。</p>			
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
	311,238	317,567	400,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

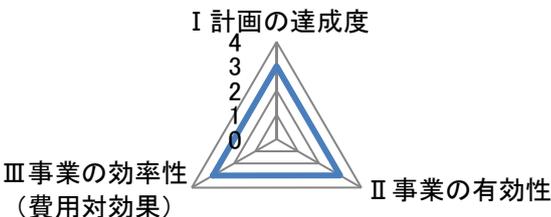
【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (7) 競走馬海外流通促進	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		海外市場調査費、海外顧客誘致活動費、国内輸出環境整備費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬海外流通促進事業実施要領	事業の目的	趣旨	国内生産馬の需要拡大
	事業の内容	海外向けに各種媒体を用いて情報を提供し日本産馬の秀逸性をアピールするとともに、海外の馬主・調教師の訪日購買を支援。また、検疫施設の維持・管理を通じて輸出環境の整備を行うなど、国内生産馬の販路拡大を図るため、次に掲げる事業を実施した。 i 海外市場及び取引調査 輸出に当たっての問題点(契約、保険、諸費用等)の整理と解決方法を検討した。 ii 海外顧客誘致活動 Webでの海外向け情報発信、海外プロモーション活動のほか、国内市場や生産地視察等に海外競馬関係者を招聘した。	実施方法	海外市場調査、情報提供、海外顧客誘致、輸出環境整備	
			受益対象者	軽種馬生産者、国内外競馬関係者	
補助金額(千円)		昨年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考
		55,305	75,458	86,000	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (8)競走馬のふるさと情報収集提供	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		情報収集提供費、生産地見学推進費、委託費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	競馬に対する理解増進及び地域振興
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	競走馬の生産地情報の提供(Web、生産地見学、現地案内所等)
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会競走馬のふるさと情報収集提供事業実施要領		受益対象者	一般市民(競馬ファン)等
事業の内容	<p>Webサイトによる情報の提供や北海道日高地区等に「競走馬のふるさと案内所」を6か所設置(日高、胆振、十勝(以上北海道)、青森、千葉、鹿児島)し、生産地を訪れる競走馬・競馬ファン等に対して現地情報の提供や牧場見学案内等を行い、競馬の健全な発展や、生産者と一般市民をつなぐため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 情報収集提供 …… 競走馬の生産地情報を収集し、Webサイトの運用、JBBANEWS等を通じて情報提供した。</p> <p>ii 生産地の見学推進 …… 競走馬のふるさと案内所・連絡センターの運営(6か所)や、馬産地見学ツアーを実施(宿泊、日帰り)した。</p>				
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
	43,982	43,131	44,000		
視点別評価				【評価項目】	
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

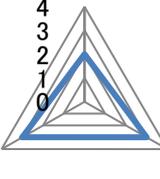
【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (9) 軽種馬経営強化改善資金 融通円滑化		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		軽種馬経営強化改善資金融通円滑化事業費(追加対策交付基金造成費)				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	軽種馬生産者の借入金償還軽減による軽種馬生産体質の強化
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営強化改善資金融通円滑化事業実施要領			実施方法	基金造成し、融資機関への利子補給、債務保証に対する支援
事業の内容	<p>本事業は、軽種馬生産者の事業継続するための借入金償還軽減を目的として、借入金の償還が困難となっている者の長期・低利の借り換え資金(軽種馬経営強化改善資金)を融通する(保証債務代位弁済)ために保証保険基盤の強化を行うものである。</p> <p>当初、平成17年度から5か年(21年度まで)事業を実施した。しかしながら、未だ経営改善に至らない軽種馬生産者もあり、引き続き経営実態を把握し軽種馬生産構造の改善を支援するため、平成26年度に追加対策として基金(460,000千円)を造成、平成30年度に追加造成(80,000千円)を行った。</p> <p>平成30年度までの補助金額は、540,000千円、保証債務代位弁済件数は4件(内平成30年度1件)、基金交付金累計は274,422千円(内平成30年度交付金46,524千円)、基金残高は265,659千円となっている。</p>					
	補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
		0	80,000	0		
視点別評価					【評価項目】	
					I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満			

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (10) 軽種馬流通活性化		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		預託補助費、獣医学的馬体検査補助費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	セリ市場の活性化及び軽種馬の流通促進
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	セリ上場に係る費用の一部補助
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬流通活性化事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者
事業の内容		<p>市場取引の活性化と軽種馬流通を促進するため、セリ市場上場に係る費用(専門業者(コンサイナー)による育成調教や獣医学的馬体検査(レポジトリー))の一部補助を次のとおり実施した。</p> <p>i 馴致及び育成調教補助 セリ上場に関する専門的知識技術を有する者への上場馬預託に係る費用補助(補助率1/2)</p> <p>ii 馬体検査情報開示補助 セリ市場上場前の獣医学的馬体検査(四肢、後膝レントゲン・上部気道内視鏡検査)に係る費用補助(補助率1/2) ※馬体検査結果の情報開示が補助の条件</p>			
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
	149,057	161,299	178,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B		D	視点別評価の合計点が6点未満	

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (11) 軽種馬経営継承者借換 資金融通		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		軽種馬経営継承者借換資金融通事業費(基金造成費)				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	軽種馬生産継承者の借入金償還軽減による軽種馬生産体質の強化	
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	基金造成し、融資機関への利子補給、債務保証に対する支援	
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営継承者借換資金融通事業実施要領		受益対象者	長期低利資金を融通する融資機関(軽種馬生産継承者)	
	事業の内容		<p>本事業は、軽種馬生産者継承者が事業の継続をするための借入金償還軽減を目的として、平成30年度に基金造成を開始した。借入金償還が困難となっている軽種馬生産者の長期・低利の借換え資金(軽種馬経営継承資金)を融通する融資機関に対して利子補給を行うとともに、軽種馬経営継承資金が代位弁済となった場合その一部につき農業信用基金協会に交付金を交付するものである。</p>			
補助金額(千円)		前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考	
		0	200,000	200,000		
視点別評価					【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	7	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
判定(ランク)	C	D	視点別評価の合計点が6点未満			

【平成30年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (12) 災害緊急支援特別対策		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会		
補助金等の名称	災害緊急支援特別対策事業費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	軽種馬生産者の災害復旧経費負担軽減による軽種馬生産体質の強化	
		[NAR] (平成30年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	災害復旧整事業費に対する支援	
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会災害緊急支援特別対策事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者(地域限定)	
事業の内容	<p>本事業は、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により被災した軽種馬生産者の生産活動の維持のため、生産者が行う被災からの復旧への取組みに対し、国による支援対策の対象とならない軽種馬生産に特有な施設や機械の修復等を対象に、経費負担を軽減する支援を緊急的に実施した。</p> <p>事業対象地域としては、被害が甚大であった3地区、北海道胆振総合支局管内、沙流郡平取町及び沙流郡日高町門別地区に限定し、発生日以降で修復に要した費用に対して補助(補助率3/4以内)した。</p> <p>放牧関連及びびトレーニング施設等の修復…………… 牧柵、シェルター、暴風壁、水飲み場、馬積み場等の放牧に必要な施設及び馬場走路、ウォーキングマシン、体重計等の修復</p>					
補助金額(千円)	前年度(H29実績)	評価年度(H30実績)	今年度(H31計画)	備考		
	—	67,731	—			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		